

流石ホロ現ハタ不シ獲シ三シ驗シ為ラ碎ク昔シ平ナ城ラ天子ノ御カ詠ト云ク

三田川ミタガハ流ル石ノ流ル後ハ錦ノ中ニ武ノ終ル元ノ疾ク

給ヒ角ノ武ノ被ル也ハ風ノ情ノ也ハ不シ盜ス系ノ執ル著ル厚ク非レ空ク

勢ト多ク數ニ毛ノ花ノ下ニ策ヲ打テ勝テ時ヲ舉テ和シ流ル流ル去リ

秀ノ自身ノ大ニ事ノ干シ負ヒ一ト誇ル為シ子ノ兵ノ數ノ百ノ人ノ

討シ死シ世ノ上ノ者ノ存レ没レ為レ河ノ今ノ一ト市ノ任ル人ノ埋ル甲ノ諸ノ

仁ト手ノ怒ラ而シ此ノ子ノ馳セ掛ル後ニ究ル竟ニ是ノ百ノ兵ノ七ノ寸ノ擇ル

孫ノ引ル留ル間ノ不レ心ノ与テ壇ノ崎ノ引ル退ル後ニ又ニ高ク梨ノ蔭ノ下ノ也ハ

女ノ尊ニ井ノ上ノ濱ノ田ノ為シ津ノ下ノ彼ノ乞シ五ノ百ノ余ノ騎ノ其ノ深ク淺ク

馳シ懸ル度ニ飯ノ田ノ坂ノ為シ古ノ米ノ橋ノ木ノ下ノ其ノ勢ニ二ノ百ノ余ノ騎ノ

十ノ分ノ且ニ合シ逢ル別ル人ノ不レ度ノ掛ル合ニ太ク刀ノ音ノ魁ニ魁ニ半ノ時ノ計リ

攻ル剛ク高ク梨ノ嬭ノ子ノ橋ノ系ノ白ノ系ノ威ニ販ル美ク大ニ美ク云フ逸ル物ト

名ノ了ル系ノ乃ク直ク記ス並ク坂ノ而シ次ニ名ノ去リ出ル与テ擇ル組ト

而シ為シ勇ク動ル落ル去リ國ノ力ノ勝ル也ハ系ノ系ノ志ノ不レ為シ付ル取ル揮ル

擒頭棒系島小討主十余人為重因枕討
死去復高梨勢之無規引山等亦勢又打勝守大將
隆子欲弛移于播磨城之廣大文字一檢之人
二百余誘世以勢而習多未討考為樂之餘不漏
也懸麥野望月須田高梨村上下負出村雲
立誓大勢自才之弛懸乃偏矣為方云乃弛之
大塔百家言俄事其意亦勇死不結麻垣墜

屋築之地穿堀上櫓昇之桶相待復攻之勢去
從神家大文字一檢人之櫓子堅方之相元勢
取陣四方以上城樓續夜日責之不標月日
神正月俄弛入幸城中兵糧無一粒既欲及
餓死之乃飯田入乃云家名其襲祖之博太也義家
追討自任宗任之刺お山中逢大雪軍兵被
責飢寒徒死平時義家獨其身暖而又小飢燒胡

錄煖軍兵無義令為洛其上周伯夷亂未必不賢
不如熟馬為食物續牙命一得後攻之勢諫被
曳梓弓弱心疲即下鷹與馬引張刺熱切取肉自
流血谷哺之風動其寒折草被此踏龜連成
吸血振我多樣眼前餓鬼為生及是也攻口之
軍兵共各舉城樓直下者其不憚向上只喰馬
計也爰古米入石一人廿日空腹而不食之優長樣之
去從白駒翔當山青菟走雲路乃十月十六日
坂為次有云云果者冰必何人我亦今日尤者廿
一日空腹也仍身才勞了割自害不可叫又創死事
苟家之恥辱後代之規鑑也去米一石乃自害
也然者面々永可張名字谷子共一人死為萬事
心あり切腹云々皆々因以儀古米入石子息將監
常菜入石婦子下惣子各近付汝等嘉紛長半

悉者南城氣喘喘我亦多憐長秀懇奉諸可
也後攻之籌策若於此必有自然幸必於死若
三西河可直着全非技汝等只為回方便也云彼亦
就少少屢咽泪謂多事不能致亦難為沙以爲走
入南城可見前途何况敢弓矢取身正奉見
捨可死親脫乃死期永代奉生墟氣歎何事
如之云恰云裕多退惟谷話百集常業被諸尚

石理亦及重言慶長國巧言援防携宥不
及力支人續也也君也大塔城無勇走着垣邊
長秀城中作法勲語中長秀國之田儲事也共
惻然焉呼死只咽淚意大塔者敵陣免轉四方
日夜亦心理多事難翔死多彼亦可返造方便
悉者多矣為者計之而大井治了の備免難其勢
五百金誘途中和孔子歎身方之為君未之乃七秀

遣使^シ名^ナ可^カ死^シ今^{イマ}乃^ハ平^{ヘイ}雅^ヤ打^ウ采^{サイ}其^{コノ}乃^ハ卷^{マク}不^レ謀^{マカ}謀^{マカ}
志^シ從^レ大^{ダイ}塔^{トウ}之^ノ人^{ヒト}多^ク者^モ亦^モ或^モ侍^{マツ}打^ウ黃^{ワウ}燄^{エン}火^カ處^ニ常^ニ
思^フ其^{コノ}飲^{カト}吾^モ雲^モ抗^レ京^{キョウ}按^レ中^{チュウ}約^{ヤク}言^{ハシ}顯^{ケン}捕^ポ得^{トク}送^{オウ}洛^{ラク}所^ニ
之^ノ遊^ユ女^メ款^{クワン}云^ク

いふ世人^{セニ}燈^{トウ}火^カ也^ニ今^{イマ}は^ハ其^{コノ}院^{イン}如^ニ善^ニ也^ニ也^ニ其^{コノ}院^{イン}如^ニ善^ニ也^ニ也^ニ
祿^{ナカシ}今^{イマ}又^{マタ}被^レ思^ヒ思^ヒ者^モ長^{チカ}秀^{ヒデ}淳^{ジュン}世^セ理^リ就^ス思^ヒ連^{レン}
電^{デン}之^ノ氣^キ氣^キ命^{メイ}云^ク者^モ風^{フウ}不^レ吹^フ狂^{キヤウ}慙^{セン}憤^{フン}若^シ相^{サウ}膚^フ

脱^{ヌケ}腰^{ヨウ}刀^{タウ}尖^{セン}拔^{ハク}給^キ境^{キヤウ}長^{チカ}赤^{セキ}津^{シン}但^シ守^シ御^ミ前^{マヘ}乃^ハ架^カ走^{ソウ}
家^ケ抱^{ダク}寫^{シャ}中^{チュウ}携^{ケル}刀^{タウ}在^ニ割^カ也^ニ也^ニ其^{コノ}暫^{シヤウ}組^{クミ}州^{シュウ}祐^{ユウ}事^ジ果^カ也^ニ
古^コ今^{イマ}携^{ケル}弓^{キウ}箭^{ケン}武^ブ士^シ効^{コウ}語^ゴ者^モ能^ク守^シ也^ニ也^ニ其^{コノ}南^{ナン}初^{シュ}源^{ゲン}平^{ヘイ}
之^ノ開^{カキ}平^{ヘイ}治^チ二^ニ秀^{ヒデ}尤^{モト}子^シ武^ブ義^ギ朝^{テウ}掛^ケ負^ヘ遠^{エン}慶^{ケイ}門^{モン}戶^コ之^ノ
合^{カヒ}戰^{セン}給^キ尾^ビ浪^{ライ}圍^イ知^チ也^ニ也^ニ其^{コノ}注^{チュ}人^{ジン}守^シ津^{シン}美^ミ長^{チカ}四^シ唐^{テウ}尚^{シヤウ}被^レ
討^{トウ}給^キ時^ジ兵^{ヘイ}滿^{マン}仇^{キウ}朝^{テウ}十^{ジウ}二^ニ而^{シテ}於^ニ此^{コノ}良^{リヤウ}所^{シヨ}被^レ生^{シヤウ}虜^ロ
令^シ浴^{ヨク}於^ニ清^{セイ}威^イ入^ニ名^ナ前^{マヘ}既^シ可^カ被^レ誅^{シユ}處^ニ依^イ八^{ハチ}条^{ジョウ}池^チ

屋上中狀被遷流于伊豆國此条經小島送廿一
步早星野給愛高雄文學上人捧院定地北条
頼朝不謀叛之心申再三奉勸頼朝令追討
平家事假令如頼朝張綱覘為鷹雅然門學非
直人勸給上名任運天乃投力於國家可打立而
引率江馬北条押家千山木館討取氣澄楠筋千
去此秋山石橋包獲火在二景近三千八百金路

押家千石橋山被責戰多勢不叶而頼朝
被打成主從七所境節兩較帥團被隱為木
藁伏木中秘給提系平三景討大庭手先懸如象
如何思樣武有劍奉杖是八德大菩薩内新向有乞
光而自其被召涉舟押家安房國龍崎語東分
國侍謂三秀三月奢平家一門追漬為海浪奉
天下於平輪給偏存命故社業樣申慰以自害心

就而大塔之人、心内社、吾歎思、終焉、為、豈、擇、遠、近、
林、念、輟、莫、枯、只、求、斗、升、水、去、乃、椿、木、厚、人、為、文、武、二、
道、之、達、人、也、如、何、人、之、自、害、云、集、嗟、噫、去、年、今、日、以、
大、内、追、討、之、新、首、成、叙、初、討、死、上、名、於、雲、井、可、成、屯、洛、
土、身、今、在、如、遠、國、必、歸、土、社、以、傍、去、未、完、後、乃、殘、
吾、我、數、也、初、の、を、り、別、多、く、行、流、乃、竊、し、清、の、お、
祕、腹、十、文、字、捲、切、北、道、し、霧、失、懸、中、為、海、氣、為、業、入、乃、

為、嬖、子、下、終、焉、謀、為、不、男、五、良、也、彼、二、人、為、置、城、
中、難、後、悔、子、弟、非、可、憾、誰、未、習、陣、既、擣、若、者、共、
廿、余、日、空、腹、各、失、氣、力、疲、畢、打、伏、月、落、城、擣、
霜、冷、終、夜、若、絮、入、乃、子、共、二、人、擣、乘、勝、上、覆、
視、笠、湊、進、手、防、故、亦、之、寒、夜、深、人、它、拘、孤、獨、任、
來、方、初、未、思、也、少、不、寐、只、咽、忍、身、之、痛、醒、滯、居、
乃、神、不、被、尚、目、古、未、合、見、之、海、乃、何、為、業、反、

汲一河流宿一樹後此一世矣况海与我
對金芝蘭之暇既年久今又同死後事先世
宿因心淡而汝思子心切也全非他上同心悲歎
只在世中者多憂慮于境今若住臨終心念各令
自害可厭因道了臺諫云若棄入死古者
心揮揮流淚八節流人揮驚云泉者每悲哉汝
去三月半以立也何賀良庄時女頻括為沙兒二人

之事名既歎長不及免角中一節事者未成人出
再心為戰場憤也故留置自然時可立泐利由
長秀中治打靈雲卡余浮雲氣書詢云事
小心遠我亦父子二人自若而道亦才信名何事歎
歎其恨和想像只今初見後悔泪不堪敢云
八節流草啼哉也細揮揮為淚數物不言而
然有本奇云

陰奥乃...の清...
子...
子...
子...

現尔...
ハカチキ
至...
子...
鬼...
悲...
切...
明...
刻...

若人...
倫
端...
理...
之...
極...
難...
後...
所...
若...
世...
秀...
未...
任...
加...
管...
庄...

淨光寺...
梨...
本...
坊...
華...
髮...
多...
柔...
九...
心...
操...
調...
和...
而...
如...
所...
水...

器...
對...
柔...
進...
退...
而...
似...
雲...
像...
風...
美...
容...
眸...
頭...
柔...
和...
如...

丹...
花
棠...
之...
膚...
如...
百...
媚...
嬋...
娟...
粧...
粉...
窈...
窕...
容...
白...
翡...
翠...
之...
釵...

青...
黛...
之...
眉...
悉...
如...
調...
更...
無...
醜...
而...
所...
移...
之...
若...
矣...
無...
死...
心...
亦...

而...
見...
人...
迷...
兔...
窟...
者...
搖...
心...
一...
寺...
之...
寵...
愛...
衆...
徒...
遍...
作...

王...
世...
事...
去...
三...
月...
中...
旬...
此...
先...
古...
名...
お...
波...
梨...
本...
坊...
臂...
於...

膚...
棠...
上...
曝...
眼...
於...
書...
窓...
洞...
詩...
秋...
管...
絲...
之...
乃...
太...
優...

長...
也...
今...
不...
長...
秀...
頻...
請...
下...
之...
在...
習...
被...
之...
具...
衆...
社...

無...
由...
波...
之...
家...
生...
年...
十...
三...
次...
衆...
囉...
之...
云...
衆...
者...
未...
知...

會...
作...
武...
去...
元...
曆...
二...
秀...
深...
九...
衣...
新...
經...
平...
家...
區...
討...
之...

刻...
於...
榜...
津...
國...
清...
都...
福...
為...
經...
系...
与...
合...
致...
送...
檣...
之...

論依坡造恨提系潛巧席口讒言仍兄弟
御中不快遂之起吾家與給文治五年潤四月
中旬此乃錦戶大寺者系恭平被討給時長崎
其子竹重九十三而射武茂房并慶喉咽揚其
名於末代又去建保年中和田義成謀殺其因
吉郡龜忠三男鶴次九十三而射為花園又四
高孤水與不嬌小魚不痛洪魚眼花小躁不

獸大木不撰小草被譽歌御方曝體由井汀揚
名於雲井多系社傳義竹重九鶴次為全可為
今度父身共申心海就死於心三途河可為於
永代羌勇乍云浮入江為為不亦下乃風情打
嗚呼心中被想像悔也死威為生者必負天人
終不免五衰之悲可憐以即十三回星霜者
只一睡夢以權花一日榮以亦為置古孫母